

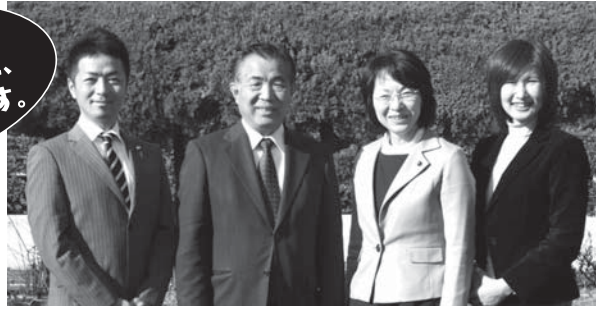
日本共産党市議団 議会報告 2010年12月議会

市議団ホームページ <http://www.jcp-toda.net>
市議団Eメール t-kyosan@cable.net.ne.jp

「くらしを守って」の
声にしっかりこたえ、
今年もがんばります。

日本共産党市議団

左から 本田哲 望月久晴
花井伸子 おかざき郁子



市長提案の 2011年度国保税改定

所得が多くないのに増税になるケースも

市長提案は、①年所得100万円以下の低所得者に対して税の軽減を拡大する、②税率の計算方法を変え、資産割と平等割をなくして均等割と所得割の2方式にする、③さらに均等割と課税限度額を引き上げるもの。

このため、減税になる世帯が出る一方、年所得100万円を超える世帯では、家族の人数により増税になる世帯が出る事が明らかになりました。

**2人家族で7千円増税、
3人家族で1万7千円増税、
4人家族で2万7千円の増税に！**

減税になる世帯	増税になる世帯
年所得100万円以下世帯 1人世帯 資産割のある2人以下世帯	年所得100万円を超える、 資産割のない2人以上世帯 資産割のある3人以上世帯 限度額を超える世帯

所得200万円でも
増税なんて！



反対した他会派 市民のくらしどう考える

日本共産党は「国保税が高すぎる」との市民の声にこたえ、値上げをさせない修正案を提案。

しかし、共産党修正案に平成会、志政クラブ、公明、民主、無所属などが反対し、否決。2011年度の国保税改定が残念ながら決まりました。

4人の一般質問から

Q 不況対策に、国の補正予算の積極的活用を

A 国から交付額が示された段階で、対応すべきメニューを選び、積極的・効率的に取り組む。

**Q 子ども医療費助成
窓口3割の廃止と中卒までの無料化いそげ**

A 市民の要望は認識している。平成25年度までに通院小学校・入院中学卒業までの無料化実施をめざす。

Q 子宮頸がん・ヒブ・肺炎球菌ワクチン接種費用の助成を

A 平成23年度から、子宮頸がんは中学1年生から高校2年生まで1回1万5千円程度、小児肺炎球菌は0歳から4歳、ヒブは0歳から8歳まで半額程度、戸田市独自に70歳以上の肺炎球菌の助成を実施する。

Q 産前産後ヘルパーの充実を

A 料金引き下げや利用日数の拡大など、まず利用者の声を聞き検討する。

Q 納骨堂の整備に市の援助を

A 納骨堂の設置は「墓地埋葬に関する法律」による規制があり、安易に設置することは難しい。研究していきたい。

おかしいぞ！

市税減免の申請で 法的根拠ない 財産調査「同意書」

所得がなく税の減免申請をする場合、戸田市は、同居者に財産調査をする「同意書」を提出させています。しかし、本来は本人のみの資産で判断すべきで、同意書に法的根拠はありません。日本共産党は、やめるよう強く改善を求めました。

その他12月議会の主な議案

日本共産党も賛成し成立へ

- コンビニでの住民票交付
- 福祉保健センターの新設
- 学童保育室の増設(戸一、戸二、新曽)
- 補正予算 総額7億4800万円

入学準備金・生活保護費の増額、市立保育園に空気清浄機、新型インフルエンザ対策、障がい者サービス利用料軽減、中小企業の新技術補助金増額、歩道整備などを含む

市民の健康づくりの拠点として 福祉保健センターが4月スタート

上戸田の「健康福祉の杜」に、市民の健康づくりの拠点となる福祉保健センターが今年4月にオープン。健康・介護・精神障がい・児童虐待・DV(ドメスティックバイオレンス)など、幅広い相談ができるようになります。

日本共産党は、長年にわたり市に公的医療の充実を要求。その結果、医療保健センターの建て替え計画が策定され、今回の福祉保健センター実現につながりました。



建設がすすむ福祉保健センター

「くらしが厳しい。なんとかして…」 切実な市民の声が次々と

市民アンケートに
266通の回答 (1月4日現在)

日本共産党が2010年11月から2011年1月にかけて実施した市民アンケート集計結果をお知らせします。

今の暮らし向きは 「きびしい」が76%

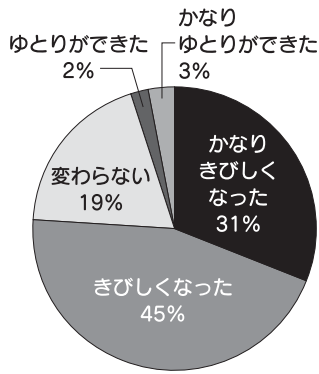
声

「年金では生活できないので、わずかな貯金も底をつき毎日に気分が沈んでくる状態。あと何年、暮らせるのか」(上戸田・60代女性)

「収入の増え方と税金の上がり方が全く合っていないので家計は厳しくなる一方です」(笹目・40代女性)

「収入が30%以上減って、さらに暮らしが厳しくなった」(川岸・50代男性)

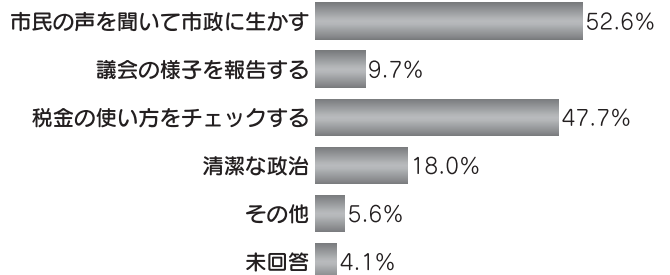
「年金から差し引かれる国民健康保険税、介護保険料、所得税、住民税などが相当高額になり、家賃、公共料金を支払うと生活費がほとんどなくなってしまふ」(下前・60代男性)



戸田市に力を入れてほしいもの トップは国保税の引き下げ (複数回答)

- 第1位 国民健康保険税の引き下げ
- 第2位 介護保険料の引き下げ
- 第3位 医療費の軽減
- 第4位 市立病院の実現など公的医療の充実
- 第5位 子ども医療費の中学卒業までの無料化
- 第6位 救急医療の充実
- 第7位 特養ホームを増やす
- 第8位 雇用・労働問題などへの対応
- 第9位 歩道の整備
- 第10位 高齢者の生きがい対策

市議会議員に期待すること (複数回答)

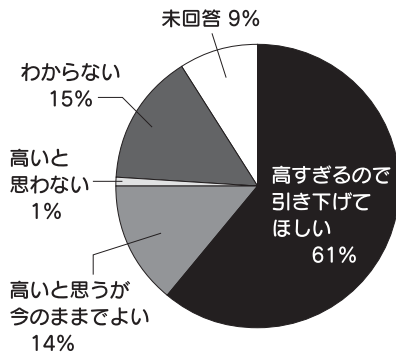


国保税について 61%が引き下げを要望

声

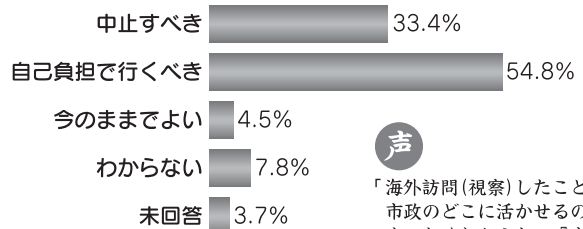
「納税が1ヵ月遅れると『督促状』が届きます。納税は本当に大変なのです。こんな気持ち、市にはわからないのですね」(本町・70代男性)

「今は派遣社員で働いていて、妻はパート、長男はアルバイトと困っている。国保税の引き下げは切実な願い」(新曾・40代男性)



戸田市議会の税金による 海外友好都市訪問

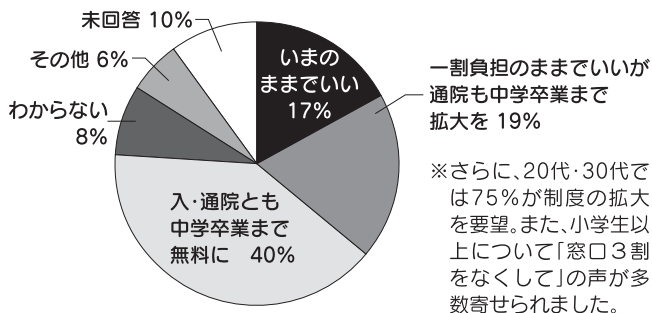
54.8%が「行くなら自費で」



声

「海外訪問(視察)したことが、市政のどこに活かせるのか、まったくわからない。『大変、参考になった』程度なら、視野をひろげる為というなら当然、自費で行くべき」(上戸田・40代女性)

子ども医療費の無料化制度について 拡大を求める声が約6割



日本共産党市議団は「全員が税金で行く必要なし」と、参加していません。2011年度についてもとりやめるよう議長に申し入れました。

ちんでも生活相談会

毎週火曜日
午後6時～8時まで

下前1-9-35 日本共産党戸田事務所
☎048-442-3599

ご協力
ありがとうございました
皆さんの「声」を生かすため
がんばります

今回のアンケートには、深刻な経済状況を反映し、くらし、雇用、介護、子育てなど、どの分野についても切実な要求が記されていました。日本共産党戸田市議団は、お寄せ頂いた貴重な「声」を市政に生かしていくために全力をあげる決意です。ご協力ありがとうございました。